

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 20 日 (2009.8.20)

【公表番号】特表 2009-503820 (P2009-503820A)

【公表日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報 2009-004

【出願番号】特願 2008-522864 (P2008-522864)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

H 0 1 J 9/02 (2006.01)

H 0 1 J 11/02 (2006.01)

B 2 9 C 33/38 (2006.01)

B 2 9 C 33/42 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/30 5 0 2 D

H 0 1 J 9/02 F

H 0 1 J 11/02 B

B 2 9 C 33/38

B 2 9 C 33/42

G 0 9 F 9/00 3 3 8

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 22 日 (2009.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

型を整合配置する方法であって、

微細構造化表面を有するフレキシブルな型を用意するステップと、

前記微細構造化表面を実質的に整合配置するために、前記型の一部分を、前記型の前記一部分と異なる部分に対して独立に延伸するステップと、を含む、方法。

【請求項 2】

前記型は、第 1 の軸線の方角と、該第 1 の軸線に実質直交する第 2 の軸線の方角とに延伸される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

型を整合配置する方法であって、

微細構造化表面を有するフレキシブルな型を機構内に設けるステップと、

前記微細構造化表面を実質的に整合配置するために、前記機構によって前記型を延伸するステップと、を含む、

前記型、前記機構、またはそれらの組み合わせはリリーフ領域を備える、方法。

【請求項 4】

前記型は、延伸されている間は、中央成形領域に実質的にネッキングを生じない、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

微細構造化された型の中央成形領域の少なくとも 2 つの周囲部分に取り付けられた枠機

構であって、

前記枠機構は複数のセグメントを備え、あるセグメントが該セグメントと異なるセグメントに対して独立に移動することができる、枠機構。

【請求項 6】

周囲 100 mm から 500 mm 当たり少なくとも 1 つのセグメントを備える、請求項 5 に記載の枠機構。